大勇門

豊田市立前林中学校

令和　8年11月6日　No.23

<学校だより>文責：大村（おおむら）　斎人（よしひと）
TEL：(0565)52－1353
E-mail：c-maebayashi@toyota.ed.jp

気になった新聞記事から

11月3日付けの中日新聞に「私立高、納付金負担2倍　25年度比、NGO調査」という記事が載っていました。非常に気になったので、調査した非政府組織（NGO）「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」のHPを閲覧したところ、実態調査報告書がありました。報告書の主な内容は下記のとおりです。

（参考資料：経済的に困難な子育て世帯の中学・高校の就学費用負担に関する実態調査報告書）

1　調査の目的
- 就学に必要な費用について、子どもや保護者の感じる負担や制約、具体的な金額を明らかにする。
- 子どもの貧困対策における就学費用軽減に向けた支援の拡充のために、本調査結果を国、地方自治体に対する政策提言につなげる。

2　調査の実施状況
- 調査地域：47都道府県
- 調査対象：セーブ・ザ・チルドレンが実施した給付金の利用世帯の中高生と保護者
- 回収状況：中高生125人、保護者425人

3　調査結果のハイライト

（1）私立高校の教育費の増額
高校無償化によって、私立高校で授業料の負担が軽減された一方、授業料以外の負担が増えた。

（2）学校生活に必要な購入品、多くが世帯負担
制服や運動着などの費目を個人で購入している割合が高いことが分かった。

（3）パソコン・タブレットの負担重く、備品化（学校への備え付け化）を望む声多数
公的な補助金や助成金があったと回答したのは、国公立で54.7%、私立で7.0%にとどまった。

（4）就学に関わる支援制度につながっていない世帯がいる可能性
奨学給付金制度の利用率が2025年調査と比較して減少していることが明らかになった。

（5）高校無償化後も、授業料以外の費用が進路選択に影響
高校1年生については「授業料以外の出費があると思ったため、私立は選択肢に入れられなかった」という回答が27.0%と最も多い回答となった。

【国公立・私立別】高1の卒業・入学にかかった費用

表3	高1国公立			高1私立		
費目	n数	平均額	中央値	n数	平均額	中央値
入学金	110	2万9,687円	9,000円	78	17万3,135円	15万円
制服代	134	7万503円	7万円	64	10万8,766円	10万円
通学かばん、上履きなどの指定品類	130	1万8,942円	1万5,100円	67	2万6,051円	2万円
卒業アルバム代（DVD代を含む）	85	1万4,471円	1万円	51	1万2,478円	1万円
運動着代	135	2万3,680円	2万円	61	2万6,193円	2万円
教科書・教材費	130	3万654円	2万5,000円	75	2万9,219円	2万5,000円
パソコン・タブレット代	79	6万1,170円	5万6,000円	51	9万9,319円	8万円
自転車代	52	4万8,492円	3万6,500円	—	—	—
通学定期代	60	4万2,638円	2万4,665円	54	2万9,390円	2万2,000円
学校納付金	99	4万4,711円	3万5,000円	61	14万7,526円	10万円

【年度比較】高１ 私立高校の卒業・入学にかかった費用

表4	2026 年高１私立		2025 年高１私立	
費目	平均額	n数	平均額	n数
入学金	17 万 3,135 円	78	14 万 5,961 円	85
制服代	10 万 8,766 円	64	9 万 3,646 円	73
通学かばん、上履きなどの指定品類	2 万 6,051 円	67	2 万 4,125 円	66
卒業アルバム代（DVD 代を含む）	1 万 2,478 円	51	—	—
運動着代	2 万 6,193 円	61	2 万 2,610 円	65
教科書・教材費	2 万 9,219 円	75	4 万 7,228 円	78
パソコン・タブレット代	9 万 9,319 円	51	9 万 660 円	55
通学定期代	2 万 9,390 円	54	2 万 4,632 円	56
学校納付金	14 万 7,526 円	61	7 万 3,364 円	67

前林中学校から進学することが多い私立高校では、調査結果にあるような負担を少しでも減らすために、家庭の経済状況や生徒の学力に応じて、それぞれの学校の実情に応じて独自の対応を行っています。

奨学金給付制度については、各家庭で情報収集に努め、適切に対応してください。

保護者来校時のお願い

授業参観や保護者会、個別面談等の予め保護者が来校されることが分かっている場合を除き、保護者が所用で来校される場合は、次のような手順で校内にお入りいただくようお願いします。



【手順１】校内に入る場合は、正面玄関に来てください。



【手順２】AED 横にある呼び鈴を押して、応答した教職員に名前と用件をお伝えください。



【手順３】下駄箱横にある名札をつけ、来校者名簿に必要事項を記入して校内にお入りください。

＊不審者の侵入や予測できない事故を防止するための対策ですので、御理解ください。
＊名札をつけていない場合、身柄の確認のために教職員が声をかけます。
＊病気やケガ等でお子様を迎えに来た場合は、直接、運動場側の入り口から保健室に入っていただいて結構です。
＊遅刻してくる生徒の心情を配慮して、生徒用昇降口の扉を閉めたり施錠したりすることはしていません。
＊不審者対応を目的とした避難訓練を 10 月 26 日に行いました。

【不審者対応訓練後の教員の振り返りから】
不審者かどうか判断が難しかった。
→「度重なる声掛けに応答しない」「静止を促しても止まらない」時点で不審者認定。
→今回声を掛けて不審者認定をするチャンスだったのは、最初に教室の扉を開けた３年４組、次に目が合った A 先生、その次に不審者の存在に気付いた B 先生。これくらいで非常通報ボタンが押されると、不審者の無用な廊下の徘徊を防げたと思います。